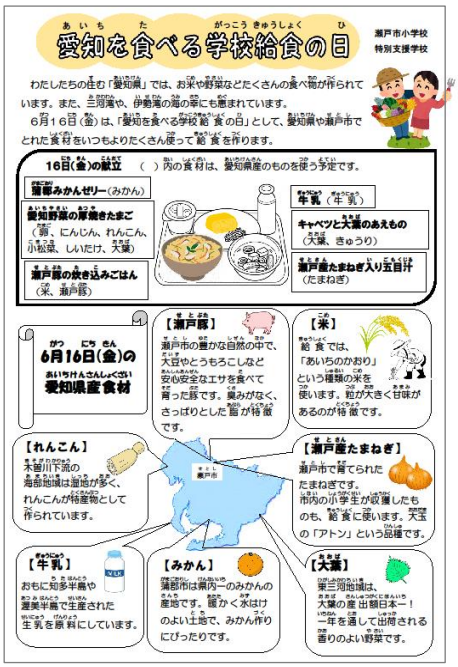
◎「地場産物を活用しよう」

学校給食では、食育月間の食育の日である６月１９日と秋の食材を味わえる時期の１１月、全国学校給食週間の１月の年３回、愛知県内全市町村で「愛知を食べる学校給食の日」を実施している。給食に地場産物や地場産物を活用した料理を取り入れ、地産地消を推進している。

愛知を食べる学校給食の日の取組　献立と啓発資料例

【美浜町】

【春日井市】



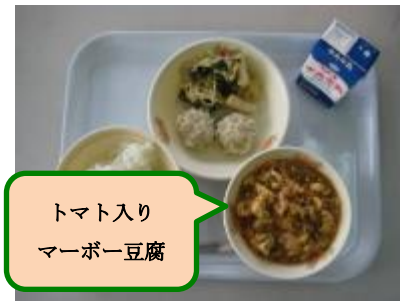
【瀬戸市特別支援学校】

地域と連携した地産地消推進実践例（東海市）

市が制定した「トマトの日（毎月１０日）」に合わせ、トマトをおいしく食べて親しみをもつことをねらいとしたトマト給食を毎月１０日前後に実施している。市内児童生徒を対象にトマト給食コンテストを実施し、優秀作品を給食として提供している。

トマト給食を毎月実施することで、以前は洋食のみに使用していたトマトが、和食や中華との相性もよいことがわかり給食の献立の幅が広がった。「トマトは苦手だけど、マーボー豆腐やトマトのみそ汁はおいしかったよ」という児童の声があった。「東海市トマトで健康づくり条例」を基に、地域と連携した取組を行ったことで、児童だけでなく、保護者もトマトについての興味、関心が高まっている。

【トマトの調理実習をしている様子】



【トマト料理を給食で食べた児童の感想】

【トマト給食実施日の家庭配付資料】